

ジェイリース

家賃債務保証を中心とした保証関連事業を展開しているジェイリース(東京都新宿区・大分県大分市)は、4月12日開催の取締役会でエイビス(大分県大分市)の全株式を取得し、完全子会社化した。

ジェイリースがエイビスを子会社化

ITを用いてサービス強化 家賃債務保証事業で更なるシェア拡大に

一方1997年に大分県で創業したエイビスは、大分・東京・大阪を拠点に環境検査システムの開発販売、システム開発、パッケージソフトの販売などを展開してきた。環境検査システムでは国内シェアナンバーワンを誇り、全国各地の企業との取引実績がある。システム開発では自治体との取引も多く、ジェイリースのシステム開発のほか、その他大手企業からも長年システム開発を受託。高齢者等を対象とした「みまもりシステム」は、タイ・マレー

上を通じ、家賃債務保証事業での更なるシェア拡大を見込んでい

また両社の人材、顧客基盤やサービスなどのリソースを融合・発

展させることで、社会課題の解決による地方創生にも取り組んでいく。加えてエイビスの持つグローバルネットワークを生かしたアジアへの展開など、同社グループの事業領域の拡大、企業価値の向上にも資すると判断した形での子会社化である。

コロナ禍をきっかけにニーズが拡大した、事業用賃料保証でも市場の開拓が進んでいる。現在は医療費保証サービスや養育費保証サービスも手掛けるなど、拡大を続けている。

現在、家賃債務保証業界や不動産業界において、デジタル化やDX化が急速に進んでいる。自社事業の成長を加速させるためには、ITを用いたサービス強化が必要と考え、今回のエイビス子会社化に至った。

▶記者会見の様子



ITを活用したサービス開発力・競争力の向